

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ほっぼ 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年1月29日		～ 令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が通所を楽しみにしていること。	利用者の自己決定を尊重し、児童主体で活動をしていること。 ・ルールを決める。 ・児童同士で話し合うこと。 ・答えを支援者が出さず、自分で見つけられるように導いていくこと。	活動がマンネリ化しないように、いろいろな変化や新しいことを取り入れていけるようにしていきたい。
2	他児との関わりの中での気づきや経験を大事にしていること。	他児との関わりを見守り、たくさんの経験をさせ必要に応じて仲立ちしたり、感じたことを振り返ったりする時間を作り、社会性を育むこと。 ・危険のない範囲で児童同士の関わりを見守る。 ・児童同士が納得するまでしっかり話す。または話し合う。	子どもたちがしたいことや、したいと思えるようなヒントを出せるように、職員がアンテナを立て活動に取り入れていく。
3	チャレンジし、失敗してもチャレンジした経験を自信に変えられるように関わりを持つこと。	苦手なことでもチャレンジしたくなるように声がけし、できたことよりも、できなかった時にしっかり褒め、チャレンジできたことを自信につなげられるような声がけを行っていく。	非認知能力を育めるような活動や、関わりをもっと増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者合同での活動や、研修を行うこと。	事業所を立ち上げたばかりで、年間のスケジュール把握ができていないことと、保護者との信頼関係を作りながらしていたところもあったため。	保護者同士、職員との関わりを持てるようなイベントや研修を計画していきたい。中には、利用していることを周囲に知られたくない保護者もいるので配慮しながら行えることを考えていきたい。
2	全体での活動をするのが難しい所がある。	様々な特性を考慮すると、活動が小グループでのものになってしまっている。	全体でもできる活動をいろいろと試しながら行っていくとともに、したことなどは職員間で振り返る時間を持ち、改善につなげていけるようにする。
3			